

## 外郭団体評価調書【株式会社用】

## 1. 基本情報

平成27年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212
	白新町1丁目自治会会長	ホームページ	<a href="http://www.toyosaka-tmo.com">http://www.toyosaka-tmo.com</a>
市所管課	北区役所産業振興課	電子メール	<a href="mailto:tmo@icss.jp">tmo@icss.jp</a>
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域のくらしに貢献する企業を目指す ・社会的信頼・信用の高い企業		

## 2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
北区観光協会運營業務受託事業			北区観光協会の管理運營業務, 観光PR事業及び特産品PR事業を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
—	—	収入額	千円	3,000	3,000	3,000	3,000
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①会員の獲得	計画	実績	人	110	107	105	104
	106			102	10		
②PR事業	計画	実績	回	11	10	10	8
	8			7	6		

事業名 ②			事業概要				
TMO管理運営事業			中心市街地活性化事業の推進及び支援を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
—	—	収入額	千円	0	0	0	0
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①葛塚市の活性委員会開催	計画	実績	回	0	0	0	0
	0			0	0		
②個店支援	計画	実績	店	63	60	80	80
	60			80	80		

事業名 ③			事業概要				
ヤマザキショップ豊栄駅店収益事業			ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
—	—	支出額	千円	27,587	27,403	27,882	27,975
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①ヤマザキショップ豊栄駅店の売上げ	計画	実績	千円	29,528	28,176	31,000	28,000
	27,356			27,302	27,698		

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
役員数	11	11	8	8
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	11	11	8	8
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	10	10	8	8
その他	1	1	0	0
職員数	14	14	21	22
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	13	13	20	21
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	13	13	20	21
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	13	13	20	21
	合計	14	14	21	22
年齢構成	20代以下	0	0		
	30代	0	0		
	40代	5	5	5	5
	50代	4	4	8	8
	60代以上	5	6	8	9
	合計	14	15	21	22

## (3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算
報酬・給与等	8,279	11,969	17,860	18,000
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	8,279	11,969	17,860	18,000
常勤	2,412	2,412	2,412	2,412
内 市職員分				
非常勤	5,867	9,557	15,448	15,448
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,412	2,412	2,412
見直し等の取り組み	うどん・そば屋（一片食）は営業不振のため、H24. 10. 31閉店。委託方式による「ラーメン屋・勝鬨屋」と契約し、H25.4月に開店した。	「道の駅豊栄」現場駅長3名と事務職員1名をH26.4.1から採用。	「道の駅豊栄」売店の営業権取得に伴い、従業員7名をH26.4.1から採用。	Yショップ豊栄駅店早朝勤務1名増

## (4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	36,076	64,894	104,752
		営業費用	38,925	59,855	100,866
		売上原価	24,072	30,738	64,075
		事業費			
		販売費・一般管理費	14,853	29,117	36,791
	営業損益	▲ 2,849	5,039	3,886	
	営業外損益	営業外収益	12	15	48
		営業外費用	0	0	
		営業外損益	12	15	48
	経常損益	▲ 2,837	5,054	3,934	
損特別	特別利益	0	15,400	11	
	特別損失				
	特別損益	0	15,400	11	
税引前当期損益		▲ 2,837	20,454	3,945	
法人税, 住民税及び事業税		181	4,239	759	
当期損益		▲ 3,018	16,215	3,186	
前期繰越損益		▲ 3,943	▲ 6,961	0	
当期末処分損益		▲ 6,961	9,254	3,186	
処利分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	0	0	0	

## (参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	8,637	12,537	18,840
役員分	0	0	0
職員分	8,637	12,537	18,840

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
資産の部	資産の部合計	28,779	55,304	55,181
	流動資産	24,245	36,073	36,372
	現金預金	22,020	29,924	29,636
	受取手形			
	未収金	807	3,385	1,548
	有価証券			
	その他流動資産	1,418	2,764	5,188
	固定資産	4,534	19,231	18,809
	有形固定資産	2,999	17,596	16,774
	無形固定資産	57	57	57
	その他投資等	1,478	1,578	1,978
	繰延資産			
	負債の部	負債の部合計	2,440	12,750
流動負債		2,440	9,474	5,889
短期借入金				
その他流動負債		2,440	9,474	5,889
固定負債		0	3,276	3,552
長期借入金				
その他固定負債		3,276	3,552	
純資産の部	純資産の部合計	26,339	42,554	45,741
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金			
	剰余金	▲ 6,961	9,254	12,441
	うち当期未処分損益 (当期損益)	▲ 6,961 ▲ 3,018	9,254 16,215	12,441 3,186
負債の部及び純資産の部合計		28,779	55,304	55,182

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
市財政支出等の合計		1,640	1,733	103
補助金	補助金	0	0	0
	事業費補助金			
	運営費補助金			
	設備投資に係る補助金			
負担金				
交付金				
委託料	委託料	1,640	1,733	103
	内 随意契約額※	1,640	1,733	103
貸付金(期中借入額)				
出資・出捐金(追加額)				
その他				
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)				

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

- ・ふれあいセンター受付業務委託料(25年度で終了)
- ・自転車無料貸出業務委託料(25年度～)

## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
経常損益		▲ 2,837 千円	5,054 千円	3,934 千円
当期損益		▲ 3,018 千円	16,215 千円	3,186 千円
自己資本比率	純資産	91.5 %	76.9 %	82.9 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	993.6 %	380.8 %	617.6 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	17.2 %	42.0 %	38.2 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金） 純資産 －資本金（基本金）		▲ 6,961 千円	9,254 千円	12,441 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

## （2）団体の自立性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	4.5 %	2.7 %	0.1 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## (3) 経営の効率性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
総資本経常利益率	経常利益	▲ 9.9 %	9.1 %	7.1 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	▲ 7.9 %	7.8 %	3.8 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.3	1.2	1.9
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	2,577 千円	4,635 千円	4,988 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	▲ 203 千円	361 千円	187 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	41.2 %	44.9 %	35.1 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	14,853 千円	29,117 千円	36,791 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	23.9 %	19.3 %	18.0 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

## (4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔ステップ・アップ2016〕 計画期間 平成21～平成28年度
概要・数値目標	
中期（平成21年度～平成23年度） 長期（平成24年度～平成28年度） <概要>・空き店舗活用による新規収益事業 ・賑わい創出 ・商品開発と販売システムの構築 <数値目標>・ヤマザキショップ豊栄駅店の初年度赤字の解消 ・ヤマザキショップ豊栄駅店の50万円以上黒字の維持 ・新規事業の初年度黒字 ・新規事業の2年目以降100万円以上黒字	
無	未策定理由〔 〕

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成15年度～ 依頼先職種〔公認会計士(有)風間会計社〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 平成22年度～ 〔株式会社まちづくり豊栄事務専決規程〕
無	

④ 人材育成の取組み	
有	取組内容 年度～ 〔 〕
● 無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
有	策定時期 平成 年度～ 規定名称〔 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成22年度～
● 無	未整備理由 規程を整備するほどの事業規模にないという判断でしなかったが、必要性を含めて検討する。		● 事業内容 平成19年度～
			● 役員名簿 平成19年度～
			役員報酬 年度～
			● 事業報告 平成19年度～
			損益計算書 年度～
			貸借対照表 年度～
			● 事業計画書 平成19年度～
		● 予算概要 平成22年度～	

## 6. 経営改善状況（個別の取組み）

## (1) 前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
地域の特徴を活かしたブランドづくり、特産品の販路拡大など、内外へアピールする事業を展開する。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		ブランド化によるまちづくりをまとめあげることはできなかったが、北宝隊、北区観光協会との連携によりバスツアーを支援。プレDCバスツアーも支援した。			
①	今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	引き続き、ブランド化、物語（ストーリー）づくりを継続。中長期計画の見直しに組み入れて推進。		
		実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	年4回の検討会を実施	中長期計画の前倒しを断念し、今年度の結果を見極める。	中長期計画を作成する	プランの作成計画の推進

今後の取組み						
「ヤマザキショップ豊栄駅店」の経営や「道の駅豊栄」の管理運営等の収益事業の安定に努める。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		Suicaの導入、売れ筋商品の発掘（麴入り塩納豆、トマト梅酒）、外販商品の販路拡大（会議用・イベント用飲料）				
②	今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	売れ筋商品の発掘（商品の入れ替え）、外販商品の販路拡大 JRへ賃料の軽減を再度申請する			
		実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工程	売れ筋商品の発掘	継続	継続	継続	継続
		外販商品の販路拡大	継続	継続	継続	継続

今後の取組み					
中長期計画「ステップアップ2016」の見直しを含めたアクションプラン作成の検討をおこなう。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		「うどん・そば屋」の閉店を受け、「道の駅豊栄」の見極めがつくまで、プラン作成を先延ばしした。			
③	今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	「うどん・そば屋」の営業不振と「道の駅豊栄」管理営業事業の着手という大変革により、中長期計画そのものを再編せざるを得なくなった。		
		実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	中長期計画の見直し	中長期計画の前倒しを断念し、今年度の結果を見極める	中長期計画の作成	プランの作成計画の推進

## (2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み						
中長期計画の見直しとアクションプラン作成に早急に取り組む必要がある。						
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	● 検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		中長期計画の見直しには、「道の駅豊栄」の26年度経営状況の見極めが不可欠である。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		中長期計画の前倒しの見直しを断念し、27年度の経営状況を見極めた後に実施する。			
	実施事項		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	中長期計画の見直しを実施		中長期計画の前倒しを断念し、今年度の結果を見極める	中長期計画の作成	プランの作成計画の推進	計画の推進

今後の取組み						
ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業に関して、会社、行政、商工会、自治会等の関係機関とのネットワーク強化が必要である。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		ブランド化によるまちづくり、賑い創出の成果は、十分ではないが、行政、商工会、自治会等関係機関とのネットワークづくりは、各イベント、行事、観光事業、特産物研究協議会、各自治協議会等その関係強化に努めた。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		引き続き、その関係強化に努める。			
	実施事項		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	関係機関との関係強化		継続	継続	継続	継続

今後の取組み						
収支回復に向けて、ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業を具体的なアクションプランを作成するとともに、早期に実施することが必要である。						
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	● 検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		状況が大きく変化したのでアクションプランの作成を「道の駅豊栄」の見極めがつくまで先延ばしした。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		「道の駅豊栄」の経営状況を見極めたうえで、中長期計画の見直しを実施する。			
	実施事項		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	中長期計画の見直しを実施		中長期計画の前倒しを断念し、今年度の結果を見極める	中長期計画の作成	プランの作成計画の推進	計画の推進

今後の取組み					
団体は本来豊栄地区のまちなか活性化を目的としたものであるが、近年の状況を見ると収支的には「ヤマザキショップ豊栄駅店」の収益に頼る部分が多く、活性化が実現されているのか疑問である。今後の団体のあり方についても検討が必要である。					
改善・対応区分	改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容	観光協会事務局、キテ・ミテ・キタク事務局、福島潟自然文化祭、阿賀野川ござれや花火、北区特産物研究協議会、豊栄商店会まつり、豊栄まつり及び豊栄大民謡流し等各実行委員会として活性化に貢献。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	「ヤマザキショップ豊栄駅店」は安定はしているものの、大きな収益は望めないもので、「道の駅豊栄」「豊栄駅前時間貸駐車場」の収支を改善し、より強固なものにする。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	「道の駅豊栄」収支改善	今年度の改善結果を見極めて中長期計画の見直しをする	中長期計画の作成	プランの作成計画の推進	計画の推進
時間貸駐車場収支改善	継続	継続	継続	継続	

今後の取組み					
赤字決算となった駅中売店（ヤマザキショップ豊栄駅店）について、増収策と併せて、経費削減策を検討・実行する必要がある。					
改善・対応区分	改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容	従業員の見習い期間の短縮と売れ筋商品の発掘に努める。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	店舗賃料の減免申請をJRに再度行なう。売れ筋商品の発掘に努める。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	JRへの賃料減免申請	継続	継続	継続	継続
売れ筋商品の発掘	継続	継続	継続	継続	

今後の取組み					
「道の駅豊栄」を活用した特産品の販売など、地域の特色をアピールする取組みを強化することが望まれる。					
改善・対応区分	改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容	「道の駅豊栄」営業権の取得がH26.4.1であるため、25年度は具体的な取り組みはしていない。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	地域の特産品を優先した品揃えに切り替える。地域の特色を内外にアピールする。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	品揃えの変更	継続	継続	継続	継続
内外にアピールする	スタンプラリーで紹介する	継続	継続	継続	

改善指示事項					
本来のまちづくり会社としての役割が十分機能しているとは言えず、今後の事業展開のあり方を引き続き検討する必要がある。					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	● 検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		十分とはいかないかも知れないが役割は果たしていると考えている。資金的裏付けがない分、目立たない。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	資金的裏付けを見極めた上で、28年度の中長期計画の見直しに織り込む。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	支援事業の実施	既存の事業を継続	中長期計画に織り込む	プランの作成計画の推進	計画の推進
工程	地域の活性化支援	既存の事業を継続	中長期計画に織り込む	プランの作成計画の推進	計画の推進

## 7. 評価の結果

## 【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>
Yショップ豊栄駅店の初期投資分と「うどん・そば屋」の欠損がすべて解消し、「道の駅豊栄」と「豊栄駅前駐車場」が安定した収益を見込めるようになって、財務の健全性は確かなものとなりつつあるとよい。27年度の結果を見極めたうえで自信を深めたい。
<b>団体の自立性</b>
設立当時、市から50%の出資（16,650千円）はあるものの、その他の市財政支出はレンタサイクル事業受託103千円のみというのは自立性が低いとは言えない。27年度の結果を見極めた上で確認したい。
<b>経営の効率性・適正性</b>
「Yショップ豊栄駅店」「豊栄駅前有料駐車場」「道の駅豊栄」「観光協会業務受託」各事業において、市との連携、各商店街振興会との意思疎通、取締役会の意思決定の迅速性及び指示命令の正確性等々効率的に、適正に機能している。特に、取締役6名、監査役2名の小数体制になって顕著である。
<b>その他</b>
Yショップ豊栄駅店の売上高は伸びているにもかかわらず、電気料金の値上げと消費税増税が大きく影響した。「豊栄駅前駐車場」は固定経費810千円に対し、2,920千円の売上であった。豊栄ふれあいセンターの管理業務受託がなくなり、引越し費用と新たに社屋の賃貸料が発生したことが大きな打撃となった。
<b>総括的な所見</b>
ふれあいセンターの業務受託の解消、及び新社屋への引越し費用と新たな賃貸料の発生等々により、5,000千円の出費減収が生じたにもかかわらず、税引き後、3,187千円の黒字で決算できたことは今後希望のもてる結果となった。今年度の結果を見極めた上で、中長期計画に反映させたい。

## 【所管課による評価】

<b>現状に対する評価</b>
一昨年度から収益が安定しており、経営の安定に繋がっていることは評価できる。今後は、収益事業の内容を精査し取捨選択も必要である。
<b>課題及び改善すべき事柄</b>
会社設立の本来の目的である「まちづくり事業」への取り組みを検討する必要がある。まちの活性化へ向けたプランづくりに取り組み、新規事業へ早急に取り掛かるべきである。
<b>今後の指導方針</b>
各収益事業の安定化に向けた指導・助言を行うとともに、新規事業を具体的に立案し実施をできるよう指導を行う。

## 【今後の取組み】

①	今年度は収支状況を精査し、来年度作成予定の中長期計画に具体的な事業を盛り込んでいきたい。
②	Yショップ豊栄駅店は、「まちづくり」会社の重要な拠点と位置付けており、赤字を最小限に抑えながら、維持継続していきたい。
③	具体的な事業として、街なかの賑わい創出、高齢化・人口減少対策、空店舗・空家対策等を実行していきたい。
④	中長期的には、道の駅豊栄の大規模改修に備えながら、道の駅周辺開発の提案・実施していきたい。

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	● 抜本的な対応が必要
<b>総括的な所見</b>			
<p>本来の設立目的である地域活性化が十分に図られていない状況は、TMO構想の推進事業者として設立された当社の今後の事業展開のあり方として、本格的に見直しが必要な状況である。</p> <p>株式会社としての収益源がYショップ、駐車場管理等と乏しい中で、「道の駅豊栄」の管理営業の受託で株式会社の態を成すに至ったことを機会に、早急に中期計画を作成して取り組むことが必要である。</p> <p>中長期計画の見直しとアクションプラン作成検討については、未着手であり改善していない。</p>			
<b>今後の取組みに対する評価、改善指示事項</b>			
<p>設立目的である中心市街地及び街づくりの活性化に資するより一層の取組が望まれる。そのための市との連携及び商店街の協力が欠かせない。</p> <p>「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方を明確化する取組を進捗させるためには、経営者が課題を自覚し、リーダーシップを発揮していくことが求められる。実態と責任の伴う職務執行が可能な経験のある役員を登用するなど、経営体制を強化することも必要と考える。</p> <p>中長期計画に具体的な事業を盛り込む場合には、「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方についての検討結果を反映した計画とする必要がある。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

平成28年2月24日 株式会社 まちづくり豊栄 代表取締役 金城道夫
<p>設立目的に基づいて、通勤通学者にとって不可欠な駅売店の経営、市が推奨する若者との連携事業、豊栄大民謡流しや商店街まつりなど、様々な事業への支援に取り組んできたが、慢性的な資金不足からより効果の高いと思われる事業に着手することができなかった。財政的な安定を得た今後は、今まで取り組めなかった事業などに目に見える形で取り組んでいく。</p> <p>株式会社の経営基盤を確保しながら、設立目的や市の構想に沿った事業展開を実施し、街中や商店街の活性化に取り組んでいく。具体的には、「街中に人の集まる拠点づくり」「葛塚市を活用した街なか活性化」等を実施していく。</p>

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

<b>改善指示事項</b>					
<p>設立目的である中心市街地及び街づくりの活性化に資するより一層の取組が望まれる。そのための市との連携及び商店街の協力が欠かせない。</p>					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	まちづくり事業の実施を通じて、北区役所、豊栄商工会、及び各商店街との連携強化を図る。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	街中に人の集まる拠点を つくる	ワークショップ 先進地視察研修	事業計画策定 自治協へ提案	事業着手	継続
工程	「葛塚市」を活用し街 中を活性化する	募集要領の検討	募集開始・出店	随時	随時

<b>改善指示事項</b>					
<p>「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方を明確化する取組を進捗させるためには、経営者が課題を自覚し、リーダーシップを発揮していくことが求められる。実態と責任の伴う職務執行が可能な経験のある役員を登用するなど、経営体制を強化することも必要と考える。</p>					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	役員（取締役）に若手を2名程度加え、経営体制の活性化・強化を図る。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	取締役 に若手を加える	人選	株主総会承認	継続	継続

改善指示事項						
中長期計画に具体的な事業を盛り込む場合には、「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方についての検討結果を反映した計画とする必要がある。						
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	設立当初から「まちづくり会社」の事業としてきたものの中から実現可能な事業を優先して実施していく。				
	工程	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		街中に人の集まる拠点をつくる	ワークショップ 先進地視察研修	事業計画策定 自治協へ提案	事業着手	継続
	「葛塚市」を活用し街中を活性化する	募集要領の検討	募集開始・出店	随時	随時	